

令和4年度地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書

(市町村分) 個票

自治体名

高岡地区広域圏事務組合

(都道府県: 富山県)

事業メニュー	優良事例の横展開支援事業		
区分	結婚に対する取組		
関連事業メニュー	2.1.2 各地域において結婚支援を行うボランティア等(マリッジサポートー等)の育成、組織化、交流体制の構築等により、各地域で結婚を希望する者が適時適切に相談できるような体制の整備や、新たなマッチングを実現するための取組		
個別事業名	広域婚活支援事業(縁結びボランティアによる婚活支援)	新規／継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間	交付決定日 ~ 令和5年3月31日	事業開始年度	令和4 年度
対象経費支出予定額 ※(注)1	1,507,000 円		
自治体における少子化対策の全体像及びその中の本個別事業の位置付け ※(注)2	<p>高岡地区広域圏(高岡市、氷見市、小矢部市で構成)では、年少者の人口減少が続いている、その要因として、20代後半から40代後半の未婚率の高さが挙げられる。(令和2年国勢調査によると、広域圏の20代後半から40代後半の未婚率は、富山県全体と比較し、約2%高い結果であった。)</p> <p>高岡地区広域圏事務組合では、平成28年度から仲人的な役割をする「縁結びボランティア」による婚活支援に取り組んでいるが、独身者よりもその家族、特に独身男性の親からの相談や問い合わせが非常に多い。それに対して独身者本人が婚活に消極的であったり、コミュニケーションに対する積極性が見られない傾向がある。単なる出会いの場づくりではなく、出会いの後も二人を後押しするなど、より積極的な支援が必要となっている。</p> <p>また、構成市を含んだ近隣市町村の中でも、婚活を支援するボランティアによる「仲人」的な事業が開始され、一定の成果になってきているが、事業が継続されるにつれて、サポート対象である登録者の数が伸び悩み、単独の自治体での結婚希望者のマッチングに限界があるという状況が浮かんできている。</p> <p>そのため、企業・団体単位での登録などの対策を検討する近隣自治体が増えている。</p> <p>当組合を構成する各市において策定が進められた総合戦略では、いずれも、少子化対策としての一連の事業、目標として、「結婚」の段階を含めた総合的な対策を掲げている。の中では、単独の事業に加えて、「広域的な取り組み」「隣接市との連携」に言及している状況にある。</p> <p>圏域内の婚活支援の取り組みについては、市によって取り組み状況が異なっているところであり、当組合が構成市の事業を補完し、連携することで、マッチングの機会が増え、カップル成立数や成婚数の増加が期待される。</p> <p>加えて、富山県では平成26年度に「とやまマリッジサポートセンター」が設置され、県下全域での情報端末を活用した婚活支援事業に着手されており、また平成28年度に富山県結婚支援ネットワークが形成されたことから、こうした事業とも連携協調をとりながら、総合的かつ広域的な婚活支援事業を実施していくものである。</p> <p>当組合が行う広域婚活支援事業では、①縁結びボランティアによる婚活支援、②県が行う結婚支援事業との協力・連携、③出会いの機会づくりの実施を三つの柱として、総合的な結婚への支援を行う。本事業はこれらのうち、①に位置づけられる。</p>		
(個別事業の内容) ※(注)3	<p><個別事業における現状と課題></p> <p>広域婚活支援事業では、縁結びボランティアによる婚活支援に重点をおき、ボランティアの活動を支援することでマッチングや引き合わせの増加、そして成婚カップルの誕生を目指している。ボランティアの情報交換の場となる定例会の開催、また活動経費の助成(一部負担)を行することでボランティアの負担軽減を図っている。</p> <p>ボランティアの育成については、初任者からベテランボランティアに至るまで、各段階に応じた研修を実施する。あわせて、イベントやセミナーにボランティアが関わることで、現代の婚活の現状を把握し、スキルアップ向上を図る。</p> <p>この事業は、構成市とともに取り組むことでより広域の特性を生かせるものであり、3市ボランティア合同情報交換会を開催するなど、市域を超えた交流の場をより多く創出している。</p> <p>課題としては、縁結びボランティアとサポート登録者のコミュニケーション不足による婚活の停滞があげられる。要因として、縁結びボランティアとサポート登録者の婚活相談の場を設ける機会が少なかったことが挙げられる。</p> <p><課題への対応></p> <p>サポート登録者の婚活に対する悩みについて相談に乗るなど、縁結びボランティアとサポート登録者が前向きに婚活に取り組むための意見交換の場を設ける。また、意見交換会に当組合職員も参加し、直接意見を聞いた上で、縁結びボランティア・サポート登録者のそれぞれが望む研修やセミナーを開催するなど、縁結びボランティア、サポート登録者、当組合が一体となり、積極的に婚活を進めて行く。</p>		

個別事業の内容

＜取組内容＞

○縁結びボランティアによる婚活支援…3市ボランティア対象

(1)ボランティア養成講座:年2回実施……………110千円

スキルアップ研修の内容については、ボランティアの意見を取り入れ実施する。

①縁結びボランティアスキルアップ研修(9月頃実施)

参加目標人数 30名・達成率100%

【委託料:55千円】

講師謝金 50,000円×1名×1.1=55,000円

②縁結びボランティア初級研修(3月頃実施)

参加目標人数 20名・達成率100%

【委託料:55千円】

講師謝金 50,000円×1名×1.1=55,000円

(2)ボランティア活動助成(面会の際にかかる交通費、通信費等)…………700千円

ボランティア活動助成金として、圏域内構成3市の婚活支援活動ボランティア団体に助成

・サポート登録者定例会(年間12回開催予定)交通費等として1人あたり5,000円

・対象者との面談又は引合せ1回につき1,000円

@5,000円×80人+1,000円×300回=700,000円

(3)役務費……………303千円

ボランティア保険 @1,000円×80人=80,000円

郵便料(定例会通知、イベント案内等)223,440円

(4)需用費……………321千円

消耗品 ボランティア名刺・名札、印刷代、定例会資料作成費用

A4用紙・台紙代 52,000円×1.1=57,200円

印刷代 @2.4円×10,000枚×1.1=26,400円

@20円×10,800枚×1.1=237,600円

(5)使用料及び賃借料……………73千円

会場使用料 40,350円

Zoom使用料 30,000円×1.1=33,000円

【次年度以降に向けた事業の方向性】

・ボランティア、サポート登録者の意見交換の機会を増やし、それぞれが望む研修やセミナーを実施する等、ボランティア、サポート登録者に寄り添った婚活を進めて行く。

【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】

・水見市縁結び推進事業、小矢部市結婚活動支援事業

【事業実施にあたっての留意点】

・本事業の実施にあたっては、実施要領記載の留意事項を踏まえて実施することとする。

・事業内容の変更があるときは、事前に内閣府に相談する。

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4	KPI項目	単位	目標値	現状値
	・圏域内縁結びボランティアの活動による成婚数	組	累計50	令和2年度8組
参考指標 ※(注)5	項目	単位	直近の実績	
	合計特殊出生率	%	高岡市1.43、氷見市1.30、小矢部市1.43	
	婚姻件数	件	高岡市620件、氷見市137件、小矢部市95件	
	婚姻率	%	高岡市3.7、氷見市3.1、小矢部市3.3	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)6	KPI項目	単位	目標値	現状値
	○ボランティア養成講座			
	・参加目標人数:スキルアップ研修	人	30	令和3年度:23人
	・参加目標人数:初級研修	人	20	令和2年度:14人
	・参加後のアンケート「研修が今後の活動に役立つ」の回答割合	%	75	令和3年度:93%
	・ボランティアの支援を受けたサポート登録者の満足度(アンケート)	%	70	令和2年度:63%
	○ボランティア活動助成			
	・広域縁結びボランティアの新規登録数	人	10	R3.12月末時点:2人
	・広域縁結びボランティア事業サポート登録者数	人	90	R3.12月末時点:84人
	・サポート登録者数に対する引き合わせ成立者数の割合	%	70	R3.12月末時点:51%
他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)7	当組合では婚活支援利用者にとやまマリッジサポートセンターを紹介して利用促進を図り、また同センターが実施するセミナーやイベントの情報提供をいただいてそれをボランティアに提供することで、圏域住民の出会いの間口が広がるよう努めている。また、富山県結婚支援ネットワーク会議が設立され、各市町村の婚活情報を県のサイトに掲載していただけたようになったことから、当組合の情報も積極的に提供していく。			
民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)8	これまで、縁結びボランティアの募集についてJA、保険会社、結婚式場等へ広報依頼をしてきたが、今後は当組合が行うイベントやサポート希望者の募集等についての広報を県内の一般企業や団体にも依頼し、イベント実施への協力については各市の商工会議所との連携も検討する。			
委託契約の有無 ※優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合のみ記載	有			
上記「事業内容」について、「地方創生推進交付金」の申請の有無	無			

(注)

1「対象経費支出予定額」には、本交付金の対象外経費を除いた対象経費支出予定額(補助率を乗じる前の額)を記入すること。また、金額の根拠となる資料(見積書等)を添付すること。

2「自治体における少子化対策の全体像及びその中の本個別事業の位置付け」には、これまでの自治体における少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情及び課題と、それらを踏まえた、自治体における少子化対策の全体像及びその中の本個別事業の位置付けを記載すること。

3「個別事業の内容」には、本個別事業の具体的な内容を記載すること。また、事業内容を検討する上で参考とした既存事業があれば、都道府県名又は市町村名、事業名を記載すること。

*個別事業を次年度以降も自立的に発展させるため、事業内容の末尾に必ず次年度以降に向けた事業の方向性を記載すること。

4「少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」については、自治体の少子化対策全体のKPI及び定量的成果目標を達成予定期を含め記載すること。また、各自治体は少なくとも令和4年度終了時点に、各自治体において効果検証を実施すること。

5「参考指標」には、各自治体の合計特殊出生率、婚姻件数、婚姻率を記載すること。

6「個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」には、自治体における少子化対策の全体像の中での本個別事業の位置付けを踏まえ、KPI及び定量的成果目標を達成予定期を含め記載すること。また、各自治体において効果検証を実施すること。

*過去に関連する事業を実施している場合は、過去に設定したKPIを踏まえたKPIを設定すること。

*結婚支援センター事業を実施する場合は、参考として直近年度の「会員登録数」「引き合わせ成立者数」「カップル成立組数」「成婚数」を記載すること。

7「他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的な方策」には、本個別事業を他の都道府県や市町村と連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記載すること。

8「民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を民間事業者との連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記入すること。

令和4年度地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書

(市町村分) 個票

自治体名

高岡地区広域圏事務組合

(都道府県: 富山県)

事業メニュー	優良事例の横展開支援事業		
区分	結婚に対する取組		
関連事業メニュー	2_1_3 その他、各地域において結婚を希望する者の希望の実現を支援するための取組		
個別事業名	広域婚活支援事業(出会いの機会づくりの実施)	新規／継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間	交付決定日 ~ 令和5年3月31日	事業開始年度	令和4 年度
対象経費支出予定額 ※(注)1	1,141,000 円		
自治体における少子化対策の全体像及びその中の本個別事業の位置付け ※(注)2	<p>高岡地区広域圏(高岡市、氷見市、小矢部市で構成)では、年少者の人口減少が続いている、その要因として、20代後半から40代後半の未婚率の高さが挙げられる。(令和2年国勢調査によると、広域圏の20代後半から40代後半の未婚率は、富山県全体と比較し、約2%高い結果であった。)</p> <p>高岡地区広域圏事務組合では、平成28年度から仲人的な役割をする「縁結びボランティア」による婚活支援に取り組んでいるが、独身者よりもその家族、特に独身男性の親からの相談や問い合わせが非常に多い。それに対して独身者本人が婚活に消極的であったり、コミュニケーションに対する積極性が見られない傾向がある。単なる出会いの場づくりではなく、出会いの後も二人を後押しするなど、より積極的な支援が必要となっている。</p> <p>また、構成市を含んだ近隣市町村の中でも、婚活を支援するボランティアによる「仲人」的な事業が開始され、一定の成果になってきているが、事業が継続されるにつれて、サポート対象である登録者の数が伸び悩み、単独の自治体での結婚希望者のマッチングに限界があるという状況が浮かんできている。</p> <p>そのため、企業・団体単位での登録などの対策を検討する近隣自治体が増えている。</p> <p>当組合を構成する各市において策定が進められた総合戦略では、いずれも、少子化対策としての一連の事業、目標として、「結婚」の段階を含めた総合的な対策を掲げている。その中では、単独の事業に加えて、「広域的な取り組み」「隣接市との連携」に言及している状況にある。</p> <p>圏域内の婚活支援の取り組みについては、市によって取り組み状況が異なっているところであり、当組合が構成市の事業を補完し、連携することで、マッチングの機会が増え、カップル成立数や成婚数の増加が期待される。</p> <p>加えて、富山県では平成26年度に「とやまマリッジサポートセンター」が設置され、県下全域での情報端末を活用した婚活支援事業に着手されており、また平成28年度に富山県結婚支援ネットワークが形成されたことから、こうした事業とも連携協調をとりながら、総合的かつ広域的な婚活支援事業を実施していくものである。</p> <p>当組合が行う広域婚活支援事業では、①縁結びボランティアによる婚活支援、②県が行う結婚支援事業との協力・連携、③出会いの機会づくりの実施を三つの柱として、総合的な結婚への支援を行う。本事業はこれらのうち、③に位置づけられる。</p>		
(個別事業の内容) ※(注)3	<p><個別事業における現状と課題></p> <p>本事業は、結婚に関するセミナーやイベントを開催し、結婚を希望する男女に対し、ブラッシュアップや出会いの機会づくりを行うものである。</p> <p>本事業における現状として、長引くコロナ禍により婚活イベントを開催できない状況が続いていることから、イベント参加への需要が高まっていたこともあり、R3年度に開催したイベントは貴重な機会となり、参加者はお互いに積極的にコミュニケーションを取り活気があった。</p> <p>課題としては、一点目に、コロナ禍による出会いの機会の減少を受け、婚活イベントの機会提供が必要よりも少ないことがあげられる。二点目に、イベントの参加者募集において、女性の申込者が少ないことがあげられる。R3年度実施のイベントでは男性の申込は定員の2倍以上あったが、女性の申込が少なく、定員に達しないこともあった。三点目に、コロナ禍での開催の為、従来の婚活イベントとは様相が異なり、マスク着用、仕切りパーテーションなどがあり、相手の話が聞きづらく、コミュニケーションをとりづらいことがあげられる。四点目に、参加者の中には相手と積極的に話すことができず、会話が続かない方がいることがあげられる。</p> <p><課題への対応></p> <p>イベントについては、需要の高まりを受け、年間2回の開催を4回(当組合自主企画を含む。)に増やす。</p> <p>R3年度イベント申込者に対して行ったアンケート結果から今後のイベント情報を受け取りを希望する方が多かったため、次回イベント開催時には当組合から婚活者へ直接メールで案内をすると、婚活者に対し積極的にブッシュ型の案内をし、申込者数を増やす。</p> <p>1対1での会話の時間を倍増し6分程度設定するなど、従来の婚活イベント内容を見直し、コロナ禍においても参加者がコミュニケーションをとりやすい場を設ける。</p> <p>参加者のコミュニケーションに関する課題については、コミュニケーション能力向上を目指した魅力アップセミナーを実施することで対応する。</p>		

<取組内容>

1. 婚活セミナー付きイベント(参加目標人数52名(男女各13名×2回) 達成率100%)

結婚を希望する独身の男女を対象に事前セミナー付出会いのイベントを開催する。イベントには縁結びボランティアも参加し、参加者に会話やマッチング後のフォロー等を行う。事前セミナーは、ボランティアと登録者との意見交換会において受講したいセミナーをヒアリングし、ボランティアと登録者の意見を取り入れた内容のセミナーを実施する。

【委託料: 689千円】(歳出)

宣伝広告費

チラシ製作費 @45円×1,000部×1.1=49,500円

広告費 170,000円×1.1=187,000円

チラシ・広告デザイン費 50,000円×1.1=55,000円

※チラシ1000部配布先→構成3市各100部、ボランティア70名:各10部

※他、イベント告知を組合HP、とやまマリッジサポートセンターHPに掲載 0円

イベント管理運営費

運営スタッフ @10,000円×4.5人×1.1=49,500円

セミナー費(謝礼) 45,000円×1.1=49,500円

司会 60,000円×1.1=66,000円

消耗品費 45,000円×1.1=49,500円

感染対策費 37,000円×1.1=40,700円

その他事務費 25,000円×1.1=27,500円

飲食費 2,000円×52人×1.1=114,400円 ※飲食費には参加費を充当する。過充当分は交付金対象経費へ充当する。
※飲食に酒類は含まない。

[参加費: 130千円] (歳入)

男性3,000円×26人=78,000円

女性2,000円×26人=52,000円

2. 交流イベント (参加目標人数52名(男女各13名×2回) 達成率100%)

結婚を希望する独身の男女を対象に出会いのイベントを開催する。イベントには縁結びボランティアも参加し、会話やマッチング後のフォロー等を行う。また、参加者へ縁結びボランティア事業への登録促進を図る。R3年度は参加者を年代別に対象範囲を設けたところマッチング率が向上したため、R4年度においても継続して実施する。また、参加者がイベントでより多くマッチングするよう、気になる相手がいない場合にもできるだけ相手を選ぶ様に促すマッチング率を向上させるなどイベント内容を工夫する。

個別事業の内容

【委託料: 639千円】(歳出)

宣伝広告費

チラシ製作費 @45円×1,000部×1.1=49,500円

広告費 170,000円×1.1=187,000円

チラシ・広告デザイン費 50,000円×1.1=55,000円

※他、イベント告知を組合HP、とやまマリッジサポートセンターHPに掲載 0円

イベント管理運営費

運営スタッフ @10,000円×4.5人×1.1=49,500円

司会 60,000円×1.1=66,000円

消耗品費 45,000円×1.1=49,500円

感染対策費 37,000円×1.1=40,700円

その他事務費 25,000円×1.1=27,500円

飲食費 2,000円×52人×1.1=114,400円 ※飲食費には参加費を充当する。過充当分は交付金対象経費へ充当する。
※飲食費に酒類は含まない。

[参加費: 130千円] (歳入)

男性3,000円×26人=78,000円

女性2,000円×26人=52,000円

3. 自主企画イベント (参加目標人数80名(男女各20名×2回) 達成率100%)

結婚を希望する独身の男女を対象に当組合自主企画の出会いのイベントを開催する。イベントには縁結びボランティアも参加し、会話やマッチング後のフォロー等を行う。また、参加者へ縁結びボランティア事業への登録促進を図る。

(1)需用費 44千円 (歳出)

消耗品 イベント消耗品

消毒・除菌スプレー代 20,000円×2回×1.1=44,000円 ※消耗品費には参加費を充当する。過充当分は交付金対象経費へ充当する。

(2)使用料及び賃借料 15千円 (歳出)

イベント会場使用料 2,210円×2回=4,420円 4,420円

Form使用料 9,800円×1.1=10,780円

※当組合が自主企画イベントを運営するにあたり、申込フォームを作成するプラットフォームを利用するもの。参加者の個人情報を取り扱うことから、セキュリティ管理の費用も含まれる。

[参加費: 40千円] (歳入)

男性500円×20人×2回=20,000円

女性500円×20人×2回=20,000円

4. 男性向け魅力アップセミナー(参加予定人数 男性20人)

縁結びボランティア事業の男性登録者の婚活の状況から、コミュニケーションがあまり得意ではない登録者が多く、相手と積極的に話すことができないことや、会話が続かないといったことが多く見受けられることから、コミュニケーション能力向上をメインとした魅力アップセミナーを実施する。参加する登録者を担当する縁結びボランティアにも参加を促し、参加者の不得意分野のフォロー等を実施する。

【委託料: 55千円】

(婚活スキルアップセミナー)

講師謝金 50,000円×1名×1.1=55,000円

【次年度以降に向けた事業の方向性】

- ・結婚を望む独身男女が申込しやすいよう、応募方法やイベント内容を工夫する。

【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】

- ・氷見市縁結び推進事業、小矢部市結婚活動支援事業

【事業実施にあたっての留意点】

- ・本事業の実施にあたっては、実施要領記載の留意事項を踏まえて実施することとする。

- ・事業内容に変更があるときは、事前に内閣府に相談することとする。

	KPI項目	単位	目標値	現状値
少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4	・セミナーやイベント実施後の参加者アンケート	%	「満足」の回答が80	令和2年度70%
参考指標 ※(注)5	項目	単位	直近の実績	
	合計特殊出生率	%	高岡市1.43、氷見市1.30、小矢部市1.43	
	婚姻件数	件	高岡市620件、氷見市137件、小矢部市95件	
	婚姻率	%	高岡市3.7、氷見市3.1、小矢部市3.3	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)6	KPI項目	単位	目標値	現状値
	○婚活セミナー付きイベント			
	・(セミナー)参加目標人数(達成率100%)	人	52	令和3年度：52人
	・(イベント)参加目標人数(達成率100%)	人	52	令和3年度：52人
	・引き合わせ成立者数	人	26	令和3年度：36人
	・参加者アンケート:「結婚に対する活動に前向きになった」の回答割合	%	70	令和3年度：59%
	・参加者アンケート:「イベントの参加を友人にも薦めたいと思った」の回答	%	70	令和3年度：56%
	・ボランティア参加目標人数(達成率100%)	人	10	令和3年度：7人
	・ボランティアアンケート:「本日のイベントで実践的に活動できたと思う」の回答割合	%	70	令和3年度：86%
	○交流イベント			
	・参加目標人数(達成率100%)	人	52	令和3年度：45人
	・引き合わせ成立者数	人	26	令和3年度：16人
	・参加後のアンケート:「結婚に対する活動に前向きになった」の回答割合	%	70	令和3年度：80%
	・参加後のアンケート:「イベントの参加を友人にも薦めたいと思った」の回答	%	70	令和3年度：42%
	・ボランティア参加目標人数(達成率100%)	人	10	令和3年度：7人
	・ボランティアアンケート:「本日のイベントで実践的に活動できたと思う」の回答割合	%	70	令和3年度：86%
	○男性魅力アップセミナー			
	・参加目標人数(達成率80%)	人	16	令和3年度：13人
	・参加者アンケート:「今後の婚活に役立つ」の回答割合	%	80	令和3年度：85%
	・ボランティア参加目標人数(達成率100%)	人	10	令和3年度：8人
	・ボランティアアンケート:「今後の活動に役立つ」の回答割合	%	70	令和3年度：67%
他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)7	当組合では婚活支援利用者にとやまマリッジサポートセンターを紹介して利用促進を図り、また同センターが実施するセミナーやイベントの情報提供をいただいてそれをボランティアに提供することで、圏域住民の出会いの間口が広がるよう努めている。また、富山県結婚支援ネットワーク会議が設立され、各市町村の婚活情報を県のサイトに掲載していただけるようになったことから、組合の情報も積極的に提供していく。			
民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)8	これまで、縁結びボランティアの募集についてJA、保険会社、結婚式場等へ広報依頼をしてきたが、今後は当組合が行うイベントやサポート希望者の募集等についての広報を県内の一般企業や団体にも依頼し、イベント実施への協力については各市の商工会議所との連携も検討する。			
委託契約の有無 ※優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合のみ記載		有		
上記「事業内容」について、「地方創生推進交付金」の申請の有無		無		

(注)

1「対象経費支出予定額」には、本交付金の対象外経費を除いた対象経費支出予定額(補助率を乗じる前の額)を記入すること。また、金額の根拠となる資料(見積書等)を添付すること。

2「自治体における少子化対策の全体像及びその中の本個別事業の位置付け」には、これまでの自治体における少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情及び課題と、それらを踏まえた、自治体における少子化対策の全体像及びその中の本個別事業の位置付けを記載すること。

3「個別事業の内容」には、本個別事業の具体的な内容を記載すること。また、事業内容を検討する上で参考とした既存事業があれば、都道府県名又は市町村名、事業名を記載すること。

4「個別事業を次年度以降も自立的に発展させるため、事業内容の末尾に必ず次年度以降に向けた事業の方向性を記載すること。

5「少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」については、自治体の少子化対策全体のKPI及び定量的成果目標を達成予定期限を含め記載すること。また、各自治体は少なくとも令和4年度終了時点に、各自治体において効果検証を実施すること。

6「参考指標」には、各自治体の合計特殊出生率、婚姻件数、婚姻率を記載すること。

7「個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」には、自治体における少子化対策の全体像の中での本個別事業の位置付けを踏まえ、KPI及び定量的成果目標を達成予定期限を含め記載すること。また、各自治体において効果検証を実施すること。

8「過去に実施している場合は、過去に設定したKPIを踏まえたKPIを設定すること。

9「結婚支援センター事業を実施する場合は、参考として直近年度の「会員登録数」「引き合わせ成立者数」「カップル成立組数」「成婚数」を記載すること。

10「他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的な方策」には、本個別事業を他の都道府県や市町村と連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的な方法を記載すること。

11「民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的な方法」には、本個別事業を民間事業者との連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的な方法を記入すること。